

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：上田 記子

研究分野	研究内容のキーワード
基礎看護学	看護業務、看護教育
学位	最終学歴
修士（看護学）	大阪大学大学院医学系研究科博士前期課程 修了 大阪大学大学院医学系研究科博士後期課程 在学中

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 臨地実習に関する事前指導	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」において、実践した。具体的には、学生に対して事前に実習先病院や病棟、看護の特徴を伝え、実習に行くにあたっての学生の心構えを指導した。これによって、学生は臨地実習時に過度な緊張感を抱くことなく学ぶことができ、実習目的を達成することができた。特に基礎看護学実習は学生にとって初めての臨地実習であり、このような事前の指導は効果的であった。
2. 学生の看護技術習得のための自己学習へのサポート	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」の担当単元において実践した。学生は看護技術を習得するために、学内実習室での自己学習を行なっている。学生が自己学習をより効果的にできるように、学内実習室の学習環境を整えた。また、学生の自己学習時にも適宜実習室に入って技術指導を行い、自己学習をサポートした。
3. 講義の工夫	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護技術演習Ⅰ」「基礎看護技術演習Ⅱ」「基礎看護技術演習Ⅲ」の担当単元において実践した。具体的には、講義スライドには教科書に掲載されていない写真やイラストを活用し、学生が視覚的にも理解しやすくなるように工夫した。また、自身の看護師経験談を語ることで、学生の学習意欲を高めることができた。
4. 臨地実習指導者と教員の指導体制の構築	2016年4月～現在	武庫川女子大学看護学部専門教育科目「基礎看護学実習Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅱ」において、実践した。臨地実習指導者とは事前に指導内容の打ち合わせを実施しているが、実習中も積極的に臨地実習指導者と各学生の学習状況を共有し、それぞれの学生に対する指導内容を議論した。1週間又は2週間の臨地実習期間中の各学生の学習達成スピードが異なることを踏まえ、このように臨地実習指導者との指導体制を構築することで教育効果を高めることができた。

<b>2 作成した教科書、教材</b>		

<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 看護学部学生委員	2017年4月～現在	看護学部学生委員として、学生の体育祭応援合戦の練習のサポートを行なった。
2. 看護学部国家試験対策ワーキングメンバー	2016年4月～2017年3月	看護学部国家試験対策ワーキングメンバーとして、他大学の国家試験対策に関する調査や学科内国家試験対策勉強会、学内模擬試験運営等を行なった。
3. 朝小サマースクール2016 in 武庫川女子大学	2015年8月	小学生低学年を対象に、手洗いの必要性と方法をわかりやすく教えた。
4. 看護学部広報委員	2015年4月～2017年3月	看護学部広報業務を行なった。具体的にはパンフレットの作成や学科オリジナル文房具の作成、オープンキャンパスの運営等を行なった。

<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要

<b>1 資格、免許</b>		
1. 呼吸療法認定士	2010年1月(2015年1月更新)	
2. 看護師免許	2006年3月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 院内勉強会の実施	2007年4月～2010年3月	国立循環器病センター（現国立循環器病研究センター）で看護師として在職していた際に、新人看護師や他病棟

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
2. 実習学生への講義	2007年	の看護師を対象に、ICU看護師として心肺補助装置や心臓血管外科手術等の看護に関する勉強会を実施した。その際の資料なども作成した。
3. 小学校教諭を対象としたBLS講習	2007年	国立循環器病センター（現国立循環器病研究センター）で看護師として在職していた際に、看護実習学生を対象に心臓血管外科看護の特徴に関する講義を行なった。 国立循環器病センター（現国立循環器病研究センター）で看護師として在職していた際に、近隣小学校教諭を対象としたBLS講習のスタッフを務めた。
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
1. 開胸術後患者の歩行支援台車使用下歩行の安全性・安楽性の検討	単	2014年3月	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	
<b>3 学術論文</b>				
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
1. Comparison of the caring behavior of nurses depending on clinical experience : what do nurses think when caring for patients?	共	2017年3月	The 8th International Multi-Conference on Complexity, Informatics and Cybernetics: ICMCIC 2017	
2. 看護診断決定に関連した看護師の思考・行動・感情傾向と課題意識に対する改善策の検討	共	2016年8月	第42回日本看護研究学会学術集会	
3. 看護診断決定に関連した看護師の思考・行動・感情傾向と課題意識に対する改善策の検討	共	2016年8月	第42回日本看護研究学会学術集会	
4. 仮想フィールドにおいて看護師が援助する際の視線・行動・動線の新人看護師と熟練看護師の比較一情報の取り込みに着目して一	共	2016年7月	第17回日本医療情報学会看護学術大会	
5. 看護診断を決定する過程における看護師の思考・行動傾向の臨床経験年数による特徴	共	2016年12月	第36回日本看護科学学会学術集会	
6. How about the Safety and Comfort for Ambulation of Post-thoracotomy Patients? A Story Of The Trolley For Patients	共	2015年9月	Japan-the Netherlands Symposium on Soft-Tribology	
7. 看護診断事例検討会における診断候補と疑問点の傾向に基づく看護診断研修における教育的サポートのあり方の検討	共	2015年8月	第41回日本看護研究学会学術集会	
8. 看護師が看護の対象に援助する際の思考過程の検討	共	2015年12月	第35回日本看護科学学会学術集会	
9. 開胸術後患者の歩行支援台車使用下歩行の安全性・安楽性の検討	共	2014年10月	第2回看護理工学会学術集会	
10. 包帯装着時の圧力分布の変化	共	2013年9月	日本看護技術学会第12回学術集会	
11. 心臓血管外科術後の低圧持続吸引器使用下での歩行の安全性と安楽性の検討	共	2013年9月	第10回日本循環器看護学会学術集会	
12. 熟達者のアンブルカット動作の比較	共	2013年9月	生体医工学シンポジウム2013	
13. The effect of the Bandage with Graduations to Keep the Tension	共	2013年7月	IEEE EMBC2013	
14. Measurement of Force Exerted by a Postoperative Cardiovascular Surgery Patient Pushing a Trolley	共	2013年7月	IEEE EMBC2013	

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
15. 一般病棟と外来化学療法室の看護業務における協働業務の実態と特徴	共	2013年7月	第14回日本医療情報学会看護学術大会	
16. Analysis of Upper Limb Trajectories in Ampoule Opening	共	2013年7月	IEEE EMBC2013	
17. Understanding the characteristics of collaboration work in the nursing activities: A time and motion study	共	2013年10月	the first international conference on serviceology	
18. モーションキャプチャーシステムを用いたアンブルカットの動作分析の試み	共	2012年9月	第20回看護人間工学部会研究発表会	
19. 心臓リハビリテーションにおける看護アプローチ	共	2012年9月	第9回日本循環器看護学会学術集会	
20. 先天性心疾患術後乳児の覚醒状態の変化に関する記録内容の現状調査	共	2010年7月	第46回日本小児循環器学会	
21. 心臓血管外科術後急性期における安全・安楽なベッド移動の手順化	共	2008年2月	第35回日本集中治療医学会学術集会	
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			